

(様式2)

地域還元施設等整備基本計画（案）に対するご意見と考え方

案件名：地域還元施設等整備基本計画（案）

意見募集期間：令和2年2月18日 から 令和2年3月13日

意見募集の結果

提出方法	募集者人数	意見数
持 参	3	12
郵 送		
F A X		
電子メール	2	7
合 計	5	19

意見の概要及び組合の考え方

No.	該当箇所	意見の概要	意見に対する考え方
1	P1	「地域還元施設」としての計画策定の背景と目的について、とても良くわかりました。	基本構想における還元施設の目的及びコンセプトを方針とし、本計画を検討しております。今後の運営等においても、多くの世代の方々に親しまれ、利用しやすい施設となるよう検討してまいります。
2	P4	「建築計画の基本方針」もわかりやすく、楽しめそうで是非行ってみたい所だと思えました。	
3	P8	問題は、6-2の今後の課題のところです。市民町民が利用しやすい入館料の設定とアクセスの仕方です。運転免許証を返上しても行きやすい交通手段があることが大切だと思います。割引券など年に1~2回広報の片隅に印刷され利用できるとか、一人暮らしの方には半額券とか、一般の方々には回数券とか、「地域還元施設」であるからには、市民町民が楽しく利用できる施設を作っていただきたいと思えます。どうぞよろしく願い申し上げます。	入館料については、先々の施設の維持管理等も踏まえ設定しなければなりません。利用者の負担にも配慮し検討してまいります。交通手段についてもアクセスが不便である現状も踏まえ、構成市町とも協議をしながら、利用しやすい施設となるよう検討してまいります。

4	3-2	<p>弓道場の併設</p> <p>以前の白雲荘の敷地内に弓道場が設置され地域の人々に利用されていた。以前と同程度の道場を希望致します。</p>	<p>地域還元施設に求められる機能等については、基本構想において住民アンケート調査等により住民の方々の意向の把握等により、基本的な整備方針を示しました。</p> <p>本計画においては、基本構想をより具体化する検討を行っております。その中でご意見をいただいているすべての機能を整備することはたいへん難しく、本計画において弓道場の整備は予定しておりませんが、地域住民の方々の交流の場として事業を進めてまいります。</p>
5	1-2	<p>地域還元施設コンセプトについて</p> <p>①省エネの建物とする</p> <p>②そのためにごみ焼却熱の利用を図る 浴室、プール、給湯、床暖房など</p> <p>③建設資材には地元の木材を使用する</p> <p>④給水・排水について配慮する</p> <p>⑤ごみ焼却施設の騒音や排ガスなどの影響を極力避ける</p> <p>⑥入浴施設からの景観を重視し、池などを望めるよう配慮する</p>	<p>本計画では、還元施設の基本となる機能等を主に検討しており、施設の建築等に関しては令和2年度に予定している施設の設計において明確にしております。</p>
6	2-3	<p>建設予定地地質調査について</p> <p>予定地は窪地となっていて、かつて、ごみを埋め立てた地域またはそれに隣接する地域であると思う。地盤沈下を防ぐために、地質の調査を行うことは重要であるが同時に有害物質などの有無についても、きちんと調査し、その結果を公表する。</p>	<p>建設予定地は、本計画にもありますように、地質調査を実施して建設に十分耐えられることを確認しております。その他の調査につきましては、法的な必要性の有無を確認しながら対応と検討をしております。</p>
7	2-5	<p>進入路について</p> <p>市道玉 313 号線を進入路としているが、十分な道幅の確保をする</p>	<p>本計画において拡幅の予定はございませんが、利用状況を把握しながら、状況に応じて道路管理者等との協議も検討いたします。</p>
8	3-1	<p>施設配置計画について</p> <p>ごみ処理施設との間に緩衝帯（例えば緑地等）を設ける</p> <p>景観的にも「憩いとうるおい」の地域還元施設にふさわしい緑地などを考慮する</p>	<p>緑地等については、白雲荘での景観が好評であったとのご意見もあり、敷地の有効利用も踏まえ、配置と植栽を検討いたします。</p>

9	3-2	<p>施設配置イメージについて</p> <p>各浴室に付随して露天風呂を設ける</p> <p>大ホールは畳敷きのように思えるが、座卓だけでなく、椅子利用も可能にする</p> <p>大ホールは分割利用もできるパーティションにし、団体使用の場合、部分利用を可能にする</p> <p>大ホールに、ステージを設け、カラオケなどの利用ができる</p> <p>施設利用の際、白雲荘と同様、食料の持ち込み利用を可能にする</p>	<p>施設はバリアフリーを基本として、高齢者・身障者等へ配慮したものとするほか、利便性を考慮した設計を検討してまいります。</p> <p>また、カラオケ等についても白雲荘での実績等も踏まえ、運営において検討してまいります。</p>
10	3-3	<p>外構計画について</p> <p>給水について、井戸設置の可能性について述べているが、その場合、地質の調査をよく行い、有害物質の有無について検査し結果を公表する。</p> <p>電気について余熱発電の利用があるが、温水の供給は熱交換システムを活用し、新たな燃焼や電気利用は極力抑制し、環境に配慮した内容を考慮する</p>	<p>井戸については、今後の設置に関する調査等により判断いたします。</p> <p>施設で使用する電力について、新ごみ処理施設工事発注時点で還元施設への余熱等の供給は、施設の規模や内容・建設地等が確定しなかったため、全量発電として発注した経緯がございます。また、余熱利用（全量発電）については議会からもご理解をいただいているところであり、事業を進めるにあたって、現時点では電力供給とする方針で検討してまいります。</p>
11	4-2	<p>入館料について</p> <p>ゆりの郷との比較があるが、ここは八郷温泉と銘うっており、周辺と比べても料金は高い、ここを参考とせず、当面旧来の白雲荘の料金を踏襲し、大人 500 円、子ども 250 円、65 歳以上 200 円とする</p> <p>入館料設定票の収入見積額について、第一案白雲荘 26,830,000 円の根拠は</p>	<p>本計画における入館料は、事業収支等を概算するために周辺施設を参考として示しております。入館料等については、先々の施設の維持管理等も踏まえ設定しなければなりません。利用者の負担にも配慮し検討してまいります。なお、26,830,000 円の根拠については、利用圏 5 km の年齢別人口から年齢別利用者数を推計し、各単価を乗じております。</p>
12	5	<p>事業手法について</p> <p>公設公営方式とする、地域還元を主眼としているので、関連自治体が責任をもって運営する。</p>	<p>事業手法については、本計画での検討や、民間活力の導入可能性に関するサウンディング調査における事業手法に対する事業者からの意見では、公設民営が有利との意見もありますが、事業主体となる当組合の責任を重く受け止め事業を検討してまいります。</p>

13	事業前提	<p>3R（ごみ発生抑制・資源・減量化）は4市町が協調して3Rに取り組み焼却等により発生するエネルギーを利用し発電などに有効活用する。</p> <p>（補足）平成28、一般廃棄物処理施設は整備基本構想パブコメへの貴組合の回答でもあるが、地球温暖化へ配慮した持続可能な事業の前提でこれを事業の根幹にしたい。</p>	<p>ご指摘のとおり、一般廃棄物処理施設整備基本計画では、還元施設における余熱利用について検討することが示されております。還元施設へは余熱により発電した電力を供給する方針としております。</p>
14	P15	<p>地域還元施設整備の目的別、機能別の体系は是としたい、こどもから大人までの施設は他都市地域への観光資源、地域資源としてオープンされたい。</p>	<p>基本構想における還元施設の目的及びコンセプトを方針とし、今後の運営等においても、多くの世代の方々に親しまれ、利用しやすい施設となるよう検討してまいります。</p>
15	P16 ～19	<p>施設配置計画検討は施設の多機能を考察すればA～D案の4案だが年齢層、バリアフリーや適正費用を配したB案のブラッシュアップが最適である。</p>	<p>施設機能等の配置については、敷地の効率的な利用や施設機能の配置において、建屋規模・建設費の概算等を踏まえ、平屋にこだわらず様々なモデルで可能性の検討を行い、「B案」を基本とし、今後、設計等を進めてまいります。</p>
16	P32	<p>各事業方式の比較地域還元施設の性格から公共性と効果効率を併せ持った持続可能な柔軟な観点から事業手法が望ましい。</p>	<p>事業手法については、本計画での検討や、民間活力の導入可能性に関するサウンディング調査における事業手法に対する事業者からの意見では、公設民営が有利との意見も踏まえ、今後、運営等において検討してまいります。</p>
17	P36	<p>施設開放への課題があるが、このポイントは適正な価格体系を、他のユリの郷などの既設とのコラボをどうするか、競合や排除ではない実質的な公共性でバックアップできるか、なお専門的な知見が必要です。</p>	<p>適正な価格設定をはじめ、事業手法等にも関連いたしますので、今後、運営等において検討してまいります。</p>

18	全体	<p>1.今回やむなき事情とはいえ、住民説明会の中止した中で、意見を求めることはいかかなもののでしょうか、窓口、ホームページで計画を知るということは、限られた市民の意見とならないでしょうか、できるだけ多くの市民の声を聞いてほしいと願うので、再度機会を持ってほしいものです</p>	<p>還元施設整備においては、早急な施設完成を望まれる声もあり、令和2年度早々に施設の設計に着手することを予定しております。本計画への住民の方々のご意見については、当初、パブリックコメントの実施と住民説明会で予定しておりましたが、国における「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」及び構成市町での対応を踏まえ、住民説明会については中止とさせていただきます。現状においてもウィルス感染の終息の兆しが見られないなか、本計画としての住民説明会の開催は困難と考えるので、ご理解いただきたく存じます。</p>
19	全体	<p>2.還元施設への要望の第1は市民が利用しやすいことです。施設に気軽に行ける条件の整備を行ってください、車の運転できない市民のために送迎バスの確保とその定期的な運行、自家用車で行く人の駐車場の確保、車の出入りが安心してできる道路の整備を 第2に利用料は低額に（白雲荘の時と同じに） 第3に100人程度の人が集まることのできるホール（椅子・座卓併用）と小会議室（趣味や学習会などできる） 第4に子どもが安心して遊べる場の確保、子どもと高齢者が利用できる温水プールの設置など健康増進のための設備設置を 第5に障がいのある人が安心して利用できるようバリアフリーとする</p>	<p>第1 交通手段については、アクセスが不便である現状も踏まえ、構成市町とも協議しながら、利用しやすい施設となるよう検討してまいります。また、駐車場等については、本計画にもありますよう、身障者対応の駐車スペースの確保や、構内道路の十分な幅員を計画しております。</p> <p>第2 入館料等については、先々の施設の維持管理等も踏まえ設定しなければなりません。利用者の負担にも配慮し検討してまいります。</p> <p>第3・4 本計画における大ホール・会議室・ウォーキングプール等各施設については、令和2年度に予定している設計や、今後の運営において詳細に検討してまいります。</p> <p>第5 施設は、高齢者や身障者等へ配慮した、バリアフリーを基本として検討してまいります。</p>